

## ごみ処理基本計画 ごみ処理推計量・目標値の作成について

### 1. 人口について

令和2年10月1日現在の住民基本台帳を基準に、各年 0.8%ずつ減少させた。

※市の基本計画の推計と合わせる。(変更の可能性あり)

### 2. 推計量について

#### (1) 定日ごみ・粗大ごみ

令和3年度ごみ処理実施計画の数値から、人口減をもとに各年 0.8%ずつ減少させた。

#### (2) 集団資源回収

令和3年度ごみ処理実施計画の数値を基準に、各年 4%ずつ減少させた。

【参考】平成27年度から令和元年度の集団資源回収の年間平均減少率は4.6%である。

#### (3) 資源化量

令和3年度のごみ処理実施計画の数値を基準に、「缶・びん・ペットボトル及び容器包装プラスチックの減少分(0.8%)」と「集団資源回収の減少分(4%)に集団資源回収の排出量に対する資源化量の割合(98%)をかけたもの」を減算した。

$$\begin{aligned} (\text{資源化量}) &= (\text{前年の資源化量}) - (\text{缶・びん・ペットボトルの減少量}) \\ &\quad - (\text{容器包装プラスチックの減少量}) - (\text{集団資源回収の減少分} \times 98\%) \end{aligned}$$

【参考】平成29年度から令和元年度の集団資源回収における資源化率の平均は、98.1%である。

#### (4) 資源化率

排出量計に対する資源化量の割合を算出した。

#### (5) 1人1日排出量

排出量(g) ÷ 人口(人) ÷ 365(日)で算出した。

※令和2年度、令和6年度及び令和10年度は閏年なので、366日で計算した。

### 3. 目標値について

予測値は、2.(1)および(2)を反映させたものとした。

目標値は、目標年度(令和11年度)の予測値を 3%減したものとした。

### 4. その他

現在は令和3年度ごみ処理実施計画の数値を基準にしているが、令和2年度の実績が確定次第、基準を令和2年度実績の数値に変更する。